

選択英語(多読) I

科目ナンバリング ENG-127

選択 1単位

筒井 史緒

1. 授業の概要(ねらい)

これまで英語を「勉強の科目」だと考えていた方。「間違っはいけない」と思うあまり、ろくに読み書きも話もできなかった、という経験はありませんか。ですが、英語はテストでよい点を取るための「学科」である以前に「言葉」です。つまり、使えることが大切。使える英語を上達させるためには、練習あるのみです。そのような意味では、英語はスポーツや音楽やダンスなどに近いといえるでしょう。理論をいくら身につけようと、実際に身体を動かすトレーニングをしなければ、スポーツも音楽もダンスもできるようなことはありません。英語もまったく同じです。

とにかく身体を動かし、トレーニングすることで、英語の力はきちんと鍛えられてゆきます。またその生きたベースがあれば、文法などの理論もぐっと理解しやすく、身につけやすく、うまく使いこなせるようになるのです。

というわけで、本演習では、トレーニングの手段を「読み」に絞り、とにかく大量の英語読書をとにかく楽しみながら行う、という一見荒削りな方法＝多読を使って、本当に使える英語のベースを養成していきます。半期、一年と続けることで、いつのまにかすらすらと母国語のように英語を理解できる喜びを、ぜひ知ってください。

2. 授業の到達目標

英語への恐怖心が取れ、自信をもって楽しく英語を読めるようになること。

日本語を介さず、自然に英語を理解する「英語脳」が育つこと。

コミュニケーションのための生きた英語を身につけること。

3. 成績評価の方法および基準

受講態度50%、読了総語数50%により総合的に評価

4. 教科書・参考文献

教科書

図書館所蔵の多読用テキスト(筒井の指定図書コーナーに配架)を使用。

5. 準備学修の内容

多読用テキストのみにとどまらず、どんどん他のメディアの英語に触れる。SNSや映像素材など。

また、英語「を」勉強するのではなく、英語「で」自分の興味を追求する。

6. その他履修上の注意事項

とにかく楽しむこと。これまでの思い込みを捨てて、まずは読む楽しさに身をゆだねてください。いつのまにか、以前にはそんなものを自分が楽しんで読むなんて考えられなかったような本が、すらすらと読めるようになるはず。そうになったらしめたもの、いくらかでも広がられます。文法も、リスニングも、ライティングも、きっと全然違う地平で習得していけるはずです。やればやっただけ必ず応えてくれる方法なので、楽しんで没頭してみてください。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---|
| 【第1回】 | 多読学習についての説明 |
| 【第2回】 | 多読実習 簡単な単語で形成された単文に慣れる |
| 【第3回】 | 多読実習 基本語彙の細かなニュアンスを知る |
| 【第4回】 | 多読実習 基本語彙の意味のバリエーションを知る |
| 【第5回】 | 多読実習 基本語彙の意味のバリエーションから、語彙ごとのコアイメージを育てる |
| 【第6回】 | 多読実習 コアイメージから未知の使用法を推測・適用させる |
| 【第7回】 | 多読実習 時制や語法の用法に慣れる |
| 【第8回】 | 多読実習 熟語表現の知識がなくてもコアイメージの組み合わせで意味が理解できるようになる |
| 【第9回】 | 多読実習 長い文章を読む |
| 【第10回】 | 多読実習 長い文章により、英語の語順でのインプットに体を慣らす |
| 【第11回】 | 多読実習 英語の語順でのインプットを徹底する |
| 【第12回】 | 多読実習 仮定法を正確に理解する |
| 【第13回】 | 多読実習 英語が自然なインプット法として定着する |
| 【第14回】 | 多読実習 自分で自分の英語のレベルが正確に判定できる |
| 【第15回】 | 多読実習 まとめ |